

ホタテガイ採苗速報

ラーバ出現数はかなり少ない。ラーバ数の多い海域への採苗器投入も準備

令和5年3月15～22日に湾内7地点で養殖2年貝の成熟度調査を、3月15日に東湾2地点で地まき貝の成熟度調査を、3月18～22日に湾内14定点でラーバ予備調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイラーバの出現数と大きさ

各湾のホタテガイラーバの出現数の推移と殻長組成は図1、図5～8、各海域の出現数は表1、図2のとおりです。

ラーバの出現数は、西湾では平均242個/m³と平年値(過去10年の同時期の平均値)2,097個/m³よりかなり少なく、昨年1,323個/m³よりもかなり少ない状況です。東湾では平均1,231個/m³と平年値5,783個/m³よりかなり少なく、昨年3,358個/m³よりもかなり少ない状況です。

200ミクロン以上のラーバの割合は西湾平均で5.6%、東湾平均で3.3%、260ミクロン以上の個体は両湾ともに見られませんでした。

2 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均では16.2と前回18.6より減少し、産卵が進んでいます(表2、図3、4)。東湾では野辺地では17.5と前回20.5から減少し、産卵が進んでいますが、川内実験漁場では22.7と前回21.8とほぼ同じ状況で、産卵が停滞しています。

地まき貝の生殖巣指数は17.8と前回17.3とほぼ同じ状況で、産卵が停滞しています(表3)。

3 ムラサキイガイ等ラーバの出現状況

各海域のムラサキイガイとキヌマトイガイのラーバ出現数は図9、10のとおりです。ムラサキイガイラーバの出現数は、西湾では平均13個/m³、東湾では平均38個/m³でした。キヌマトイガイラーバの出現数は、西湾平均で13個/m³、東湾平均で348個/m³でした。

4 今後の見込み

ラーバの出現数は全湾でかなり少なく、西湾では特に少ない状態が続いています。例年、採苗器投入の目安は200ミクロン以上のラーバが全体の50%に達した時期としていますが、本年は出現したラーバをできる限り多く付着させるため、より早い時期に投入情報を提供します。採苗器投入時期については、今後の情報を参考にしてください。

また、採苗器の数を増やすことや中身の流し網を2つに増やすなどの準備をしてください。さらに、今後の情報を踏まえてラーバ数の少ない海域では、ラーバ数の多い海域へも採苗器を投入できるよう準備してください。

5 お知らせ

全湾一斉ラーバ調査は3月27日(月)から行いますので、ご協力お願いいたします。

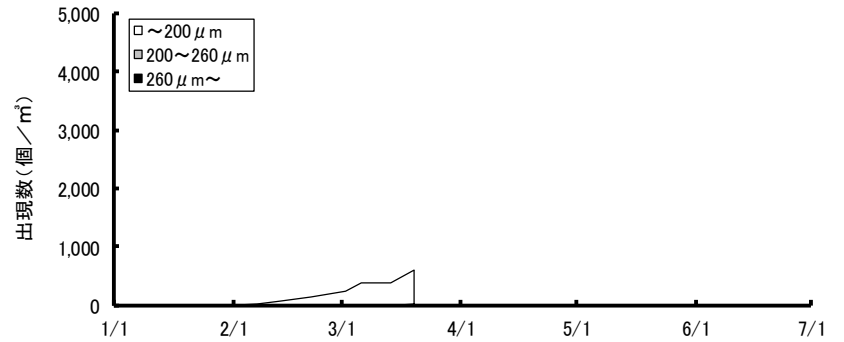


図1 全湾におけるホタテガイラーバ出現数の推移

表1 地先別におけるホタテガイラーバの平均出現数

地先	全出現個数		200ミクロン以上		260ミクロン以上	
	個数	割合	個数	割合	個数	割合
平 館						
蟹 田						
蓬田村	96	25	26.0%	0	0.0%	
後 湯						
奥 内	213	0	0.0%	0	0.0%	
油 川	939	0	0.0%	0	0.0%	
造 道	227	0	0.0%	0	0.0%	
原 別	114	0	0.0%	0	0.0%	
久栗坂						
土 屋						
茂 浦						
浦 田						
東田沢						
小 湊						
清水川						
野辺地町						
横浜町						
むつ市						
川内町						
脇野沢						
西湾中央	164	4	2.6%	0	0.0%	
東湾中央	1,231	40	3.3%	0	0.0%	
西湾平均	242	7	2.9%	0	0.0%	
東湾平均	1,231	40	3.3%	0	0.0%	
全湾平均	595	19	3.2%	0	0.0%	

個数の単位：個/m³

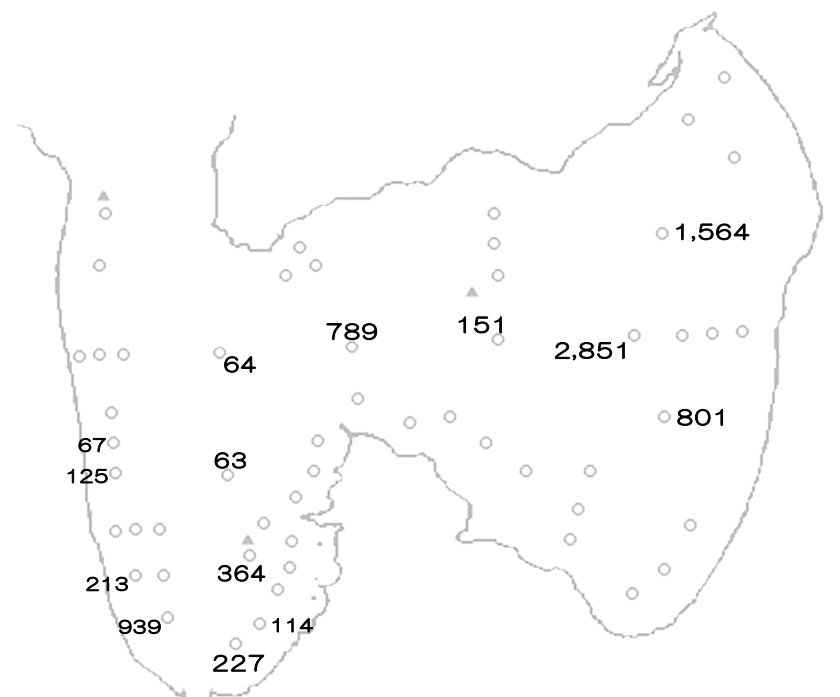


図2 調査地点別におけるホタテガイラーバの平均出現数(個/m³)



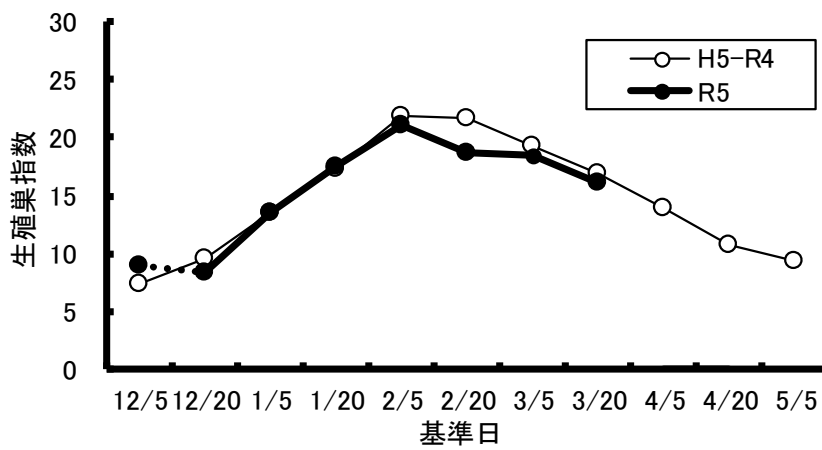


図3 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

注)調査地点が1地点の場合は破線

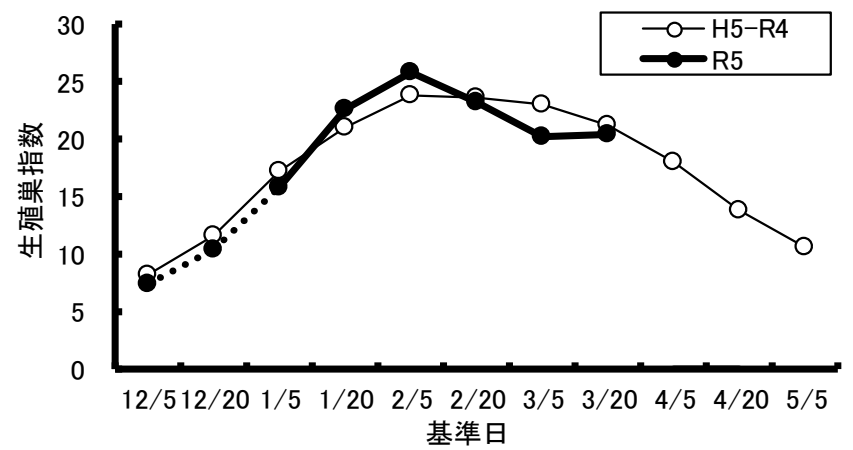


図4 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

表2 垂下養殖2年貝の測定結果(調査基準日 3月20日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量 (g)	軟体部指数	生殖巣重量 (g)	生殖巣指数	へい死率 (%)	異常貝率 (%)
蓬田村	3月21日	11.1 (10.9)	109.5 (133.6)	49.4 (56.1)	45.2 (42.0)	6.6 (9.4)	13.5 (16.5) [17.4]	0.0	3.3 (9.6)
青森市奥内	3月18日	10.1 (10.6)	112.4 (137.2)	47.1 (52.6)	41.9 (38.3)	7.7 (9.0)	16.5 (16.9) [19.7]	14.3	16.7 (8.2)
久栗坂実験漁場	3月22日	11.1 (11.4)	144.1 (166.5)	66.0 (71.4)	45.7 (42.7)	11.0 (12.6)	16.6 (17.4) [17.9]	2.4	10.0 (16.8)
平内町浦田	3月21日	10.3 (10.6)	114.9 (130.2)	57.9 (57.4)	50.4 (44.1)	10.6 (9.4)	18.2 (16.2) [19.3]	9.2	0.0 (4.3)
西湾平均		10.7 (11.0)	120.2 (144.4)	55.1 (60.5)	45.8 (41.8)	9.0 (10.4)	16.2 (16.9) [18.6]	6.5	7.5 (11.2)
野辺地町	3月22日	11.5 (11.1)	145.5 (155.5)	69.3 (71.6)	47.6 (45.9)	12.0 (16.4)	17.5 (22.7) [20.5]	23.9	6.7 (2.7)
むつ市	欠測								
川内町*	3月15日	10.6 (10.3)	119.6 (122.7)	60.1 (56.7)	50.4 (44.6)	12.6 (11.5)	21.2 (20.0) [17.3]	30.2	6.7 (7.2)
川内実験漁場	3月22日	10.7 (11.0)	136.2 (145.4)	62.7 (66.7)	45.9 (45.8)	14.2 (14.0)	22.7 (20.9) [21.8]	28.1	43.3 (6.8)
東湾平均		11.1 (10.6)	140.9 (136.5)	66.0 (62.4)	46.8 (45.7)	13.1 (13.4)	20.1 (21.2) [20.3]	27.4	25.0 (5.4)
全湾平均		10.8 (10.8)	127.1 (140.1)	58.7 (61.3)	46.1 (43.8)	10.4 (11.9)	17.5 (19.0) [19.5]	15.4	13.3 (8.2)

* 川内町は生殖数指数が異常な推移をしているため参考値とする

[]: 前回の値 (): H5-R4の平均値

表3 地まき貝の測定結果(調査基準日 3月20日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量 (g)	軟体部指数	生殖巣重量 (g)	生殖巣指数	異常貝率 (%)
むつ市	3月15日	10.5 (10.6)	153.1 (137.1)	69.9 (62.4)	45.7 (45.5)	12.0 (11.1)	17.2 (17.6) [15.8]	13.3 (1.1)
川内町	3月15日	10.1 (10.7)	119.3 (142.3)	53.3 (63.0)	44.6 (44.1)	9.8 (11.0)	18.3 (17.2) [18.7]	10.0 (3.3)
東湾平均		10.3 (10.5)	136.2 (134.8)	61.6 (60.6)	45.2 (44.8)	10.9 (10.6)	17.8 (17.2) [17.3]	11.7 (2.2)

[]: 前回の値 (): H5-R4の平均値

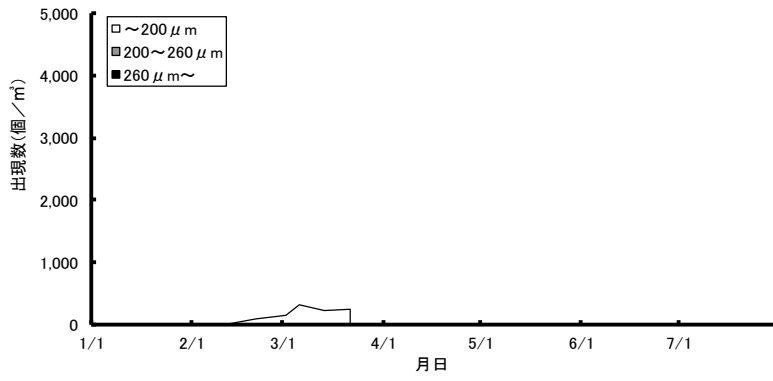


図5 西湾におけるホタテガイラーバの出現数の推移

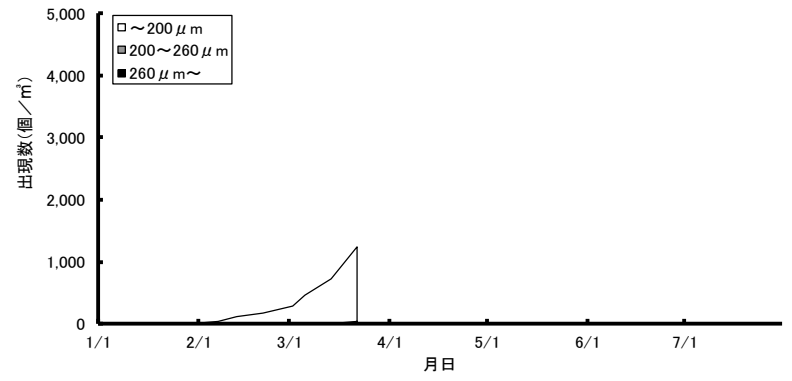


図6 東湾におけるホタテガイラーバの出現数の推移

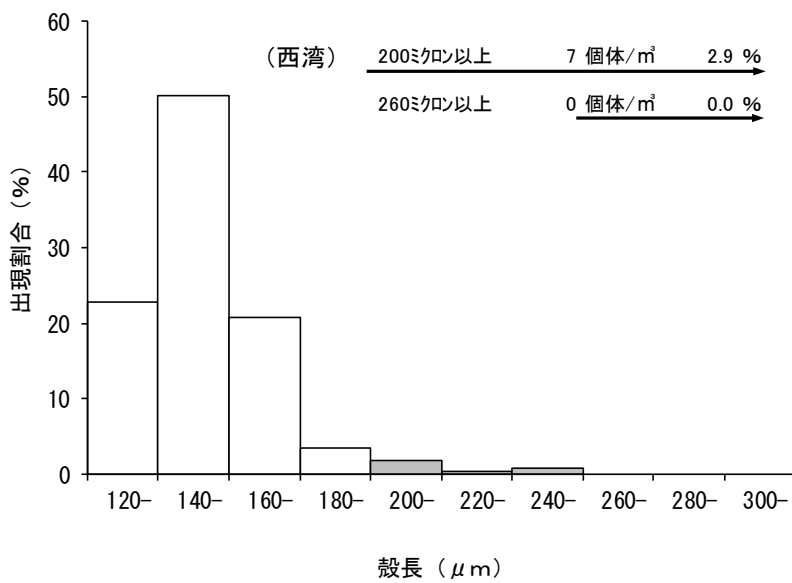


図7 西湾におけるホタテガイラーバの殻長組成

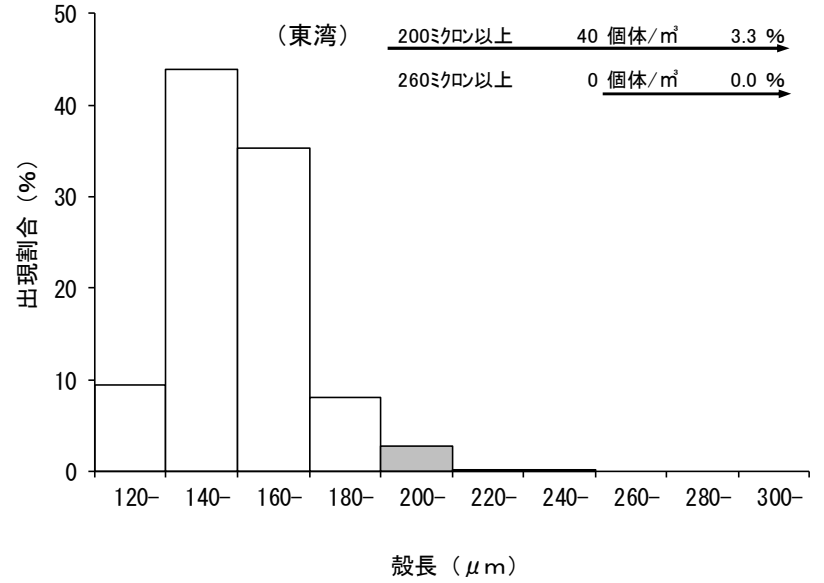


図8 東湾におけるホタテガイラーバの殻長組成

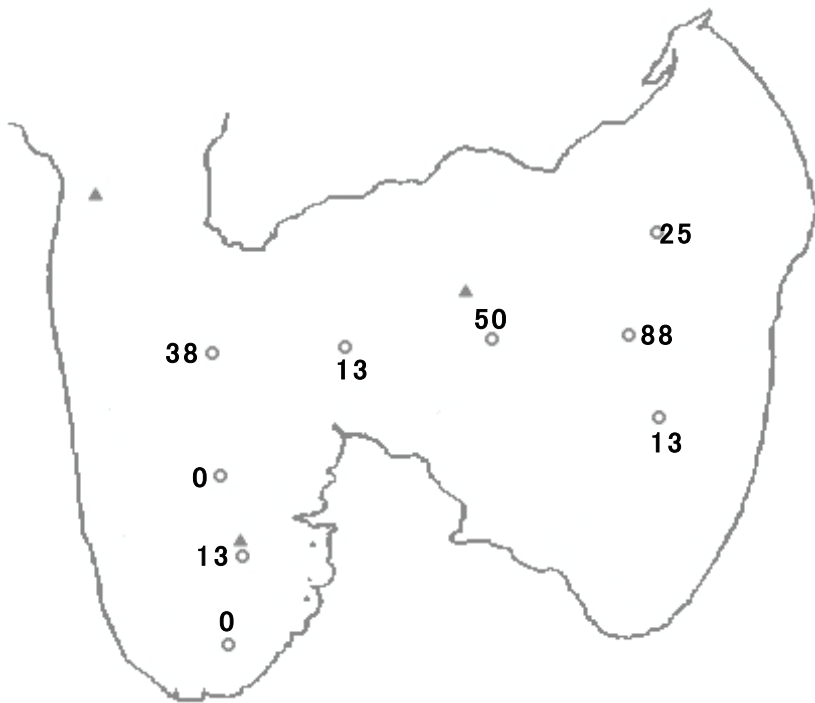


図9 調査地点別におけるムラサキガイラーバの平均出現数(個/m³)

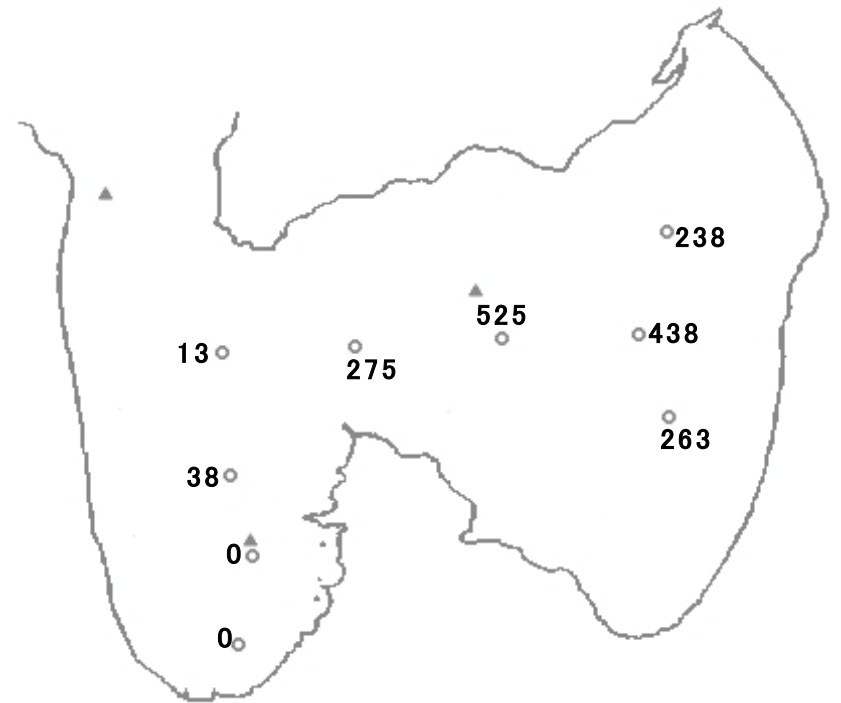


図10 調査地点別におけるキヌマトイガイラーバの平均出現数(個/m³)